

# 后醍醐天皇

題字は社宝伝崇徳天皇ご宸筆  
勅額の文字を模したものです。



本年の例大祭は十月十五日・十六日の両日に亘り、途切れることなく降り続く雨の中での御巡幸となりました。ハレの日にもかかわらず、透明のビニールカバーに覆われた御神輿と屋台、御輿による町内ご巡幸は長時間供をする人々の体温をも奪つてしまふ悪天候ではありましたが、今年もこの日を待ち望んでこられた氏子の方々の熱い思いに変わりがあろうはずもなく、各お神楽所ではいつもと変わらぬ賑やかさで迎えていただきました。心配されていた御神輿の川入渡御も夕暮れ「日の入り」前に多くの人々の見守りのもと斎行され、無事本社に還御となりました。

例年ない悪条件の中、戸田孝一郎大祭委員長を始め西条年番の方々、鬼頭他関係各位、また屋台舁き夫、氏子の皆さんにはご苦労の連続であつたと存じますが、心に残る今年の秋祭りだったと思いつけていただけるならば幸いです。お祭り伝統文化を守るために、力を尽して支えて下さった皆様に心より感謝申し上げます。

拙て、各地で秋祭りの諸行事が繰り広げられたこの十月、愛媛県においては第七十二回えひめ国体が開催され、開会の式典御臨場併せて地方事情の御視察のため九月二十九日から十月一日までの三日間、天皇・皇后両陛下が行幸啓あそばされました。そして二十四年ぶりとなる両陛下の愛媛行幸啓に際し、県内の旧国幣社である大山祇神社と当社、及び愛媛縣護國神社に幣饌料をお供えいただきました。

奇しくも平成二十九年は当社御創祀一千八百八十年の佳き年。めでたくも感慨深きこの年に、尊き思し召しを賜りました事は洵に有難く、畏き極みございました。これに伴い、去る十一月一日（※昭和十五年当社が国幣中社に昇格した日）の御創祀一千八百八十年祭とあわせて、両陛下からの幣饌料を奉る奉幣祭を斎行致しました。当日は明比幹夫筆頭常務総代をはじめ氏子総代の方々など多数のご参列をいただき、厳肅なうちにも肅々と祭典が執り行われました。とりわけこの日のためにご奉納頂いた篠笛奏者阿部一成様の篠笛の音色は圧倒的な鋭さと愁いを含み、社殿の空気が一変するほどの美しさで響き渡りました。ご参列いただいた全ての人々の気持ちが一つになつて大神様に思いを馳せた時間であり、正に神々しき一千八百八十年祭並びに奉幣祭となつたのではないかと思います。

そしてまた、当社が、平成二十七年より取り組んできています奉賛会事業も白木秀典会長を中心として第二期工事の社務所改修が間もなく開始され、来年の秋季例大祭前に完成する予定です。此の度の記念事業の完遂を心待ちにお待ちいただいている氏子崇敬者の皆々様には大いなるご理解とご支援を賜り、誠にありがたく厚く御礼申し上げますとともに、何かと厳しい時勢ではございますが、引き続き尚一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

来る平成三十年も伊曾乃大神様の御加護のもと、氏子崇敬者のご多幸とご健勝を心より祈念申し上げます。

# 例大祭御神事

年番(西条) 大祭委員長 戸田孝一郎

今年は雨の大祭となってしまいました。古老にお尋ねしても記憶にないと申されておりましたが、皆様のお蔭をもちまして無事斎行することが出来ました。心より感謝申し上げます。

秋の大祭は大神様が年に一度御神輿にお乗りになり氏子のところを隈なく巡られ氏子は喜び神様をお迎えして山車・みこしを奉納する。これが祭であり、その山車の奉納を一年間待ち続け祭の二日間にそのエネルギーをぶつける。それを考えれば少し無理をしても神様に氏子のところを巡つていただきたい。そんな思いで祭を強行しました。そして二日間三十五カ所の神楽場を廻りきりました。これは氏子の皆様がそれぞれの神楽場でテンとの用意などご配慮いただいたこと、例年以上に神楽に参列された方が多く御神輿の本肩や御道具持ちに励みになったこともありました。

祭り最大の見せ場である川入りも水量の多さ流れの速さなど実行を躊躇する場面も有りましたが鬼頭の英断と神戸川入りメンバーの熱意により目標である明るいうちの川入りが出来ました。



## 年番例大祭準備

西条地区の皆様により  
十月十四日、参道周辺の

安全対策をはじめとする

例大祭準備を戴きました。

この作業は氏神様の例大祭を迎えるにあたり、  
氏子の皆様にご奉仕戴いており、年番制でご担当  
戴いております。

## 例大祭直後の清掃奉仕

宮出し直後の境内は多くのゴミが生じております。本年も年番世話人をはじめ有志の方とともに清掃奉仕を賜りました。特に本年は、雨天であつたことから傘・合羽等の雨具の投棄が多くありました。

境内はご神域であり、  
終日ご参拝に来られる方

もいらっしゃいます。例  
年多くのゴミが発生して  
おりますので、各屋台み  
こしの昇夫を中心となり  
より一層のゴミ対策にご  
理解とご協力を戴きます

ようお願い申し上げます。



御  
奉  
仕  
御  
礼

### 御旅所除草奉仕

御旅所管理委員会の皆様

### 神門前大楠注連縄奉製

神戸長寿会の皆様

### 例大祭前の清掃奉仕

神戸長寿会、神拝神友会の皆様

### 下福古墳周辺清掃奉仕

西條史談会有志の皆様

### 境内清掃奉仕

愛媛県厚生年金受給者協会

西条支部の皆様

奉  
納  
御  
礼

御所通 神野 仁 様

柄杓 五本

某 会 様

境内末社幕 二幕

明比 幹夫 様

八尺脚立 一脚

筆頭常務総代

明比 幹夫 様

常務総代

三浦 仁 様

矢野 幸雄 様

木藤 清 様

監事 安藤 勝俊 様

鬼頭大総取締  
一色 鉄馬 様  
鬼頭總取締  
一色 信之 様

鬼頭取締  
佐伯 市朗 様  
曾我部保次 様  
松本 秀朗 様  
桑原 忍 様

鬼頭副取締  
明日 清輝 様  
安永 裕治 様  
矢野 晃三 様

鬼頭副取締格  
菅 晋策 様

鬼頭山中剛生 様  
白石都志彦 様  
村上文治 様  
浅田延也 様

拝殿横幕 各一幕

渡邊 博毅 様  
拝殿正面幕 一幕

社頭  
点描

### 夏越祭

旧暦六月十五日にある八月六日、  
加茂川原にて執り行いました。

当曰は

雨天とな

り、御神

輿は急き

よ第一鳥

居から車

両による

渡御とな

りました。

### テレビ愛媛取材

九月十一日、ふるさと絶賛バラ工

ティいーよ！の

取材を受けまし

た。宮司・鬼頭

会長により例大

祭の紹介を致し

ました。

### 事始式

本年は十月七日、例大祭の始まり

を告げる事始

式を斎行致し

ました。

当日ご参列

された皆様の

集合写真は、

当社H・Pで

ご覧になるこ

とができます。

### 秋季氏子総代会

百名を超える氏

子総代の皆様がご

出席され、九月三

日に開会された総

会では、例大祭を

中心に審議を行

ました。



### 三、愛媛県外に出ているダンジリを訪ねる ④

いよ西条だんじり祭り編著者 村上 俊行

曳きダンジリの内  
船ダンジリの内

曳きダンジリにつ  
いてみると、徳島

県では海部郡の各

所に出てている。海

陽町宍喰八坂神社

祇園祭りに出てい

る関船である。大

里八幡神社の祭礼

には壇尻五基に二

基の関船が出る。

高知県室戸市吉良

川町御田八幡宮の

祭りは、花台がメ

インであるが一基

船ダンジリが出る。



室戸のお舟



海陽町の関船

三基で一隻の船になる珍しい船ダンジリの祭り  
も出るが船ダンジリがメインの祭りである。岐  
阜県加茂郡八百津町大船神社の祭りに出る三基  
のダンジリは、船の前部、中部、後部の形で、  
んどん（太鼓台）



八百津町のだんじり



牛窓のだんじり

であり、この船型ダンジリは富山県ではこの一基のみとされることである。兵庫県

の船型ダンジリは富山県ではこの一基のみとされることである。兵庫県

の船型の曳山

である。愛知県犬山市針綱神社の祭りは大型のからくり人形を持つ豪華な犬山形ダンジリの祭りであるがそのダンジリにも劣らない立派な船山車が出ている。富山県南砺市福野神明社の祭りは三日間あり、一日と二日目は夜高行燈祭り（夜高行燈発祥の地のこと）三日目最終日は曳山の祭りである。その曳山の内一基は立派な

船山車が出る。兵庫県篠山市波々伯部神社の祭りには八基のダンジリが出るが、

そのうちの一基が船ダンジリである。この船

の船型の曳山

低い山を背景に田畠を進むダンジリの風景は、よく掲載されている。長野県松本市里山辺須々岐水神社の祭りに出る二輪の曳山（この地方では舞台と呼ぶ）の前後に弓状に張った幕を付け、大海に浮かぶ船を表していると言いお船と呼び、お船祭りと云う。



南砺市の曳山



犬山市の船山車



松本市の舞台



篠山市の船だんじり





寄附石建立工事



解体建屋部分

八月には寄附石建立工事に着手し、例大祭前の十月十二日までに工事を完成させました。

また、第二期工事として準備を進めております社務所増改築工事が、愈々十一月中旬から着工することとなりました。

なお、工事は日本瓦葺部分と社務所接続部分の建屋解体工事から着手し、竣工後に社務所建屋部分の内部改修に取りかかる予定です。工事期間中はご不便をお掛けすることとなりますが、何卒ご理解ください。

八月には寄附石建立工事に着手し、例大祭前の十月十二日までに工事を完成させました。

また、第二期工事として準備を

進めております社務所増改築工事

解体および建設工事期間は、現付状とおり社務所において祈祷受付・社務を行います。

解体後に新設された部分で社務を行い、待合殿にて祈祷窓口を行います。完成後は工事前と同様に社務所へ開設致します。

とご協力を賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

とご協力を賜りますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

# 奉贊会現状報告

## 境内整備の状況

八月十九日・二十日には裏参道入口の注連柱周辺に繁茂する竹藪

の伐採作業を、九月十四日には殿

内オガタマ剪定作業、二十日に

は例大祭前の整備として、五月十

三日に実施した大楠樹勢回復のた

めの土壤改良工事に伴う参道の盛

り土部分の整地を戴きました。

また、二十四日の伊勢音頭フェスティバル当日は、境内駐車場周辺の雑木整備を戴きました。

九月十七日の台風十八号では、社号石（市道と参道の交差点）前は雨水の流入が著しく、道路排水が許容値を超えたため越水し一時通行不能な状況となり、結果、道路舗装の損壊や参道の砂利流出等の被害が生じました。

しかしながら、定期的にご尽力を賜り整備を戴いておりますところは被害の発生はなく、短期集中の豪雨でありながら極めて最小限

度の被害に留まることができます。

た。

これも一重に、ご多忙の中ご奉仕を戴いております皆様方の賜物と深く感謝を申し上げます。

### ■奉仕作業者ご芳名

(順不同)

阿	部	大	河	様	森	義	光	志	様
塩	崎	将			井	上	博	司	様
尾	野	和	夫		浅	田	尚	夫	様
井	上	博	司		井	上	博	司	様
森	義	光	志		森	義	光	志	様
加	藤	武	司		加	藤	武	司	様
伊	藤	勇	様		伊	藤	勇	様	
浅	田	秀	隆		浅	田	秀	隆	様
森	義	光	志		森	義	光	志	様

ほか有志の皆様

いつも大変有り難く存じます。

ご助勢を賜り整備が進んでおりま

伊曾乃神社御創祀一八八〇年祭並盛大に斎行  
幣饌料奉幣祭



十一月一日、晴天に恵まれて御創祀一八八〇年を祝うとともに天皇皇后両陛下から賜りました幣饌料とは、天皇皇后両陛下が行幸啓なされた都道府県内の旧官国幣社および、指定護国神社に奉られる御奉幣のことで、奇しくも本年は国民体育大会が本県で開催される年でもあり、開会式に御臨席されるために行幸啓なされた九月二十九日、大山祇神社と愛媛縣護國神社とともに賜りました。

祭典は八十名余りがご参列の中、旧市内神職の助務に加え、伶人による雅楽のご奉仕、新居浜市在住の篠笛奏者である阿部一成氏の奉笛も行い、盛大かつ厳かな神事となりました。



# 神宮大麻をうけまじめ

愈々年の瀬も押し迫つて参りました。  
平成三十年の新しい年を迎える準備はお済みで  
しょうか。

## ・神宮大麻



## ・神社大麻



神棚の神宮大麻（伊勢の神宮のお札）と、神社大麻（氏神様のお札）も新しくお祀りし、新年を迎えましょう。

毎年、神宮大麻・神社大麻は各町内の氏子総代様のご協力を得、各戸ご希望の氏子様へ頒布致しております。

祭典のごあんない

## 一月

〔二日 午前八時すぎ〕

西条市無形文化財指定

## 田宮流居合術奉納



## 二月

〔十一日 午前九時より〕

神武創業を偲ぶ

## 紀元祭



〔十五日 午前九時より〕

## 左義長（とうど）神事

〔三日 午前十時より〕

## 荒川獅子舞奉納



## 四月

〔十七日 午前十時より〕

五穀豊穣を祈る

## 祈年祭



〔一日 午前九時より〕

## 開運春祭

〔二十五日 午後一時より〕

## 初天神祭・筆供養祭

# 敬神婦人会通信



伊曾乃神社敬神婦人会が設立して三年という月日がたちました。氏子崇敬者の皆様より、伊曾乃神社敬神婦人会に対し、常々ご支援・ご協力をいただきます事を、心より感謝申し上げます。

六月二十四日に伊曾乃神社敬神婦人会総会を開催いたしました。設立から三年。何もわからぬ状態から活動を始めた敬神婦人会ですが、少しずつ氏子の皆様方にも浸透してきたのではないかと感じております。

本年は役員改選の年にあたり、役員改選を行いました。役員改選も総会にて承認され、新しい体制でこれから活動をしていくこととなりました。

少しずつ成長をしながら、より一層活発な婦人会にしていこうと、会員一同決意をいたしました。

七月に八幡浜市で開催された「愛媛県敬神婦人連合会総会」に、

伊曾乃神社敬神婦人会が設立して三年という月日がたちました。氏子崇敬者の皆様より、伊曾乃神社敬神婦人会に対し、常々ご支援・ご協力をいただきます事を、心より感謝申し上げます。



役員が参加いたしました。県内の敬神婦人会の方々と交流を深めつつ、情報交換などを行ない、実りのある総会となりました。総会に参加をして、日々を元気で楽しく過ごせるという事に、嬉しい気持ちをもつ事ができました。また県内の各社にお参りに行く事ができる事に感謝しこれからは、研修旅行として神社参拝を行いたいと考えております。



敬神婦人会としてこれからも今までの成長を続けていきたいと考えております。まだまだ不備な点などたくさんあると思います。皆様方のご理解・ご協力をいただきたいと思っております。たくさんの方々が婦人会に参加します。たくさんの意見をいたしました。

協力をいただきたいと思つております。たくさんの方々が婦人会に参加する。境内には姫宮神社をはじめとする境内神社が四社あり、本殿同様に立派な社殿でお祀りされています。

## 兼務社紹介 その三

### 六十余惣神社（むそよそじんじゃ）

鎮座地 西条市藤之石八号四三番地

御祭神 事代主命 大国主命

国道一九四号線を高知方面に進む途中、笛ヶ峰登山口との交差点があります。ここに鎮座されていますのは第二十六号で紹介しました「止呂神社」ですが、この神社の向かい側の山中に鎮座されています。

六十余物神社は加茂地区風透の氏神様で、創立年代は不詳です。集落には真夏でも涼風が絶えない「風穴」や、民話で有名な「うすぐも姫の墓」があります。自然遺構や文化財が残る集落ですが、高齢化が進み現在では氏子の皆さんは数戸あまりとなってしましましたが、祭典執行にご尽力を戴いております。

社名の由来を記録するものはありませんが、口伝によれば風透の集落内にお祀りされていた六十余りの神々を合祀したことにあると言われております。

集落のほぼ中央に御鎮座され、石造の鳥居を潜ると苔むした参道が続きます。境内には姫宮神社をはじめとする境内神社が四社あり、本殿同様に立派な社殿でお祀りされています。

# ご存知ですか 氏子区域の鎮守さま



(平成二十九年十二月  
平成三十年五月)

## 【平成30年 年賀表（数え年）】

還暦	61歳	昭和33年生まれ	いぬ
古希	70歳	昭和24年生まれ	うし
喜寿	77歳	昭和17年生まれ	うま
傘寿	80歳	昭和14年生まれ	うさぎ
米寿	88歳	昭和6年生まれ	ひつじ
卒寿	90歳	昭和4年生まれ	へび
白寿	99歳	大正9年生まれ	さる
上寿	100歳	大正8年生まれ	ひつじ

## 【平成30年の厄年（数え年）】

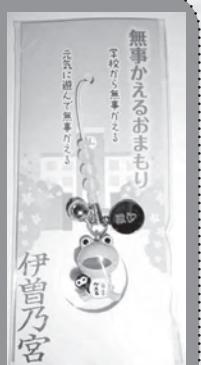
男 性	厄	25歳	平成6年生まれ	いぬ
	前 厄	41歳	昭和53年生まれ	うま
	本 厄	42歳	昭和52年生まれ	へび
	後 厄	43歳	昭和51年生まれ	たつ
女 性	厄	19歳	平成12年生まれ	たつ
	前 厄	32歳	昭和62年生まれ	うさぎ
	本 厄	33歳	昭和61年生まれ	とら
	後 厄	34歳	昭和60年生まれ	うし
	厄	37歳	昭和57年生まれ	いぬ

年間を通じて受け付けております。

例年になく行事の多かつた十月は、例大祭・衆議院議員選挙そして、十一月一日の一八八〇年祭……。更に二つの台風接近もあり、氏子町内は多忙を極めたことと想います。

発行

伊曾乃神社社務所  
〒793-0054 西条市中野甲一六四九  
電話 ○八九七-五五二一四一  
FAX ○八九七-五六一四七六一  
HP <http://www.isonoininja.or.jp/>



「無事かえるお守り」

編集後記

ランドセ  
ルを背負つ  
たかえるさ  
んの、可愛  
らしいお守  
りです。  
こどもさ  
んが、いつ  
とを願い、

## 新授与品の紹介